

沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）は、展覧会 「おちる、はみだす、ずれる。伊藤千史展」を開催します

墨汁を用いた絵画作品を中心に制作する美術作家、伊藤千史

伊藤千史は、人物や動物、日常の風景を軽やかな筆致で描きながら、世界の輪郭がわずかに揺らぐ瞬間を捉えてきた作家です。本展では、ふんどし姿の男性像をユーモラスかつ力強く描いた「羅漢シリーズ」、第25回岡本太郎現代芸術賞特別賞を受賞した『書店レジ前の平台』、作品集「ねこおち」の原画、歴史的モチーフを扱った、鈴木英治著『義元、遼たり』の装画原画を中心に、さまざまな作品を紹介します。

線の揺らぎや余白の在り方、日常に潜む違和感といった表現を通して、伊藤作品に共通する“意味のほぐれ”を多角的に体感いただける展示となっています。日常の見え方がそっと変わるような、静かで新鮮なまなざしの転換をお楽しみください。

展示予定作品イメージ



『書店レジ前の平台』



「五百羅漢！伊藤千史展」展示風景

[Credit]

『書店レジ前の平台』画像提供：川崎市岡本太郎美術館

「五百羅漢！伊藤千史展」展示風景撮影：銭谷均

〈報道関係の方からのお問い合わせ先〉

沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津） 担当：松永（副館長）

TEL 055-952-8711 | FAX 055-964-1538 | Mail info@monmusee.jp

開催概要

展覧会名：「おちる、はみだす、ずれる。伊藤千史展」

開催期間：2026年1月31日（土）～3月29日（日）

休館：毎月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、国民の祝日の翌日（土日祝日はのぞく）

時間：10:00-17:00（入館は16:30まで）

会場：静岡県沼津市本字下一丁田900番地の1 沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）

主催：沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）

企画：沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）

公式サイト：<https://www.monmusee.jp/>

展覧会出品アーティスト

伊藤千史（Ito Chifumi）

静岡県富士宮市出身・在住の美術家。女子美術短期大学造形科グラフィックデザイン教室を卒業後、墨汁を用いた絵画作品を中心に制作を続けている。墨ならではのにじみや線の勢いを生かしながら、人物や動物、日常の断片をユーモラスな感覚で描き出す。

2022年には第25回岡本太郎現代芸術賞展において特別賞を受賞し、注目を集める。同年、作品集『ねこおち』（子鹿社）を刊行。絵画制作にとどまらず、地域のカフェや公共空間での制作、イベントへの参加など、生活と地続きの表現活動も継続して行っている。

展覧会歴

主な展覧会（Selected Exhibitions）

2024年 「五百裸漢 現る！」 Art@東静岡（ヒロバ）（静岡）

2023年 「漁師のおっさん」 ART SPACE Botanica（静岡）

2022年 「第25回 岡本太郎現代芸術賞展」 川崎市岡本太郎美術館（神奈川）

2018年 「五百裸漢！」 富士芸術村（静岡）

他多数

受賞歴（Award）

2022年 第25回岡本太郎現代芸術賞 特別賞（川崎市岡本太郎美術館）

2021年 市場町アートフェス グランプリ（DHARMA NUMAZU）

2018年 第9回1000の小箱展 入選（感覚ミュージアム）

2018年 第10回記念展 紙のアートフェスティバル 入選（富士芸術村）

沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）について

沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）は、風光明媚な千本浜に程近い場所にある沼津市立美術館です。モンミュゼはフランス語で「私の美術館」、地域の誰もが気軽にアートに親しめる美術館です。沼津市ゆかりの版画家山口源の作品資料を数多く所蔵しており、県内外で活躍している作家の企画展も常時開催しています。



沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）

住 所：〒410-0863 静岡県沼津市本字下一丁田900番地の1

電 話：055-952-8711

F A X：055-964-1538

公式サイト：<https://www.monmusee.jp/>

特定非営利活動法人レザミ・デ・ザールについて

特定非営利活動法人レザミ・デ・ザールは、沼津市庄司美術館（モンミュゼ沼津）の指定管理者です

【団体概要】

団 体 名：特定非営利活動法人レザミ・デ・ザール

所 在 地：〒410-0022 静岡県沼津市大岡1056番地の10

理 事 長：菊地悠子

事業内容：地域の文化・芸術振興

設 立：2022年8月3日

公式サイト：<https://lesamisdesarts.com/>

